



# JAL不当解雇撤回ニュース

No332号 2013.11.21  
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先: 航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819  
<http://www.jalkaikotekkai.com>

**兵庫県**

## また一つ、支援組織が結成！

JAL 不当解雇撤回また新たな支援組織「JAL 争議支援兵庫県連絡会」が結成されました。11月14日、神戸勤労会館において同連絡会の結成総会が開かれました。昨年11月26日に、姫路市から初めてスタートしたキャラバンがきっかけで、今回の連絡会結成につながりました。バンド「トーフレンズ」の演奏で始まった結成総会には、150名が集まりました。歌あり笑いありの温かい集会となり、高裁勝利に向けて、皆が心ひとつになりました。

### 勝利に向けて大きな力になろう！

連絡会代表の津川兵庫労議長は、主催者代表の挨拶連で、「国家的犯罪とこんなに明るく闘っている原告団に励まされている。これまでの地域と組織の支援を更に広げ、勝利に向けて大きな力になろう」と述べました。



【「あの空に帰ろう」を合唱する原告と支援者の皆さん】

原告の訴えに感銘をうけて、「力になりたい」と引き受けて下さった兵庫弁護団の杉野弁護士は、「解雇の必要性も人選の合理性もなく、明らかに組合つぶしである」と東京地裁の不当判決を批判しました。

また、「裁判闘争だけではダメ。世論を広げる運動も必要。ぜひがんばりましょう」と力強い挨拶をされました。



## 集會に参加された方がフェイスブックに投稿

### 私達も兵庫から支援の輪をひろげていきたい！

原告の方6人の訴え、涙なしでは聞けません。組合員だというだけで、仕事も生きがいももうばい、尊厳をふみつけにするJALのやり方は本当に許せません。原告の方には、それぞれ家族も家庭生活もある中、大変になることもわかっていて解雇。

阪神淡路大震災にあい、障害をもつ息子を育てながら自らの誇りと家族を支え、安全に人々を移動させようとがんばってこられたのに、「明日から仕事はありません」と白紙のスケジュールを渡す。ある方は、「私ら世代は、日航機墜落事故を経験している。同僚や世話になった上司も失い、多くのお客さんも犠牲にした。こんなことが2度とあってはならないと組合をとおして安全については再三声をあげてきた。会社にとってはうるさい存在なのかもしれないが、私たちがいなくなれば安全は守れない」と痛切な訴え。こんな理不尽なやり方は、到底許せません！